

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 木割り	(ふりがな) きわり	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	木割り		
伝承地域	三島町 大石田		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) いい大工の棟梁は、木の癖を見抜いて木割りを行った。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 家を建築しようとするときは、大工の棟梁は木割を行う。棟梁は、家の大小、間取り、構造の細疎など主人の希望に応じた板図面を引き、その図面により柱・梁・桁など建築に必要な材木の大小、太さ、本数などを出す。 藩政時代の林は大半藩のもので、個人用としてはわずかであった。このため、家を建てるのは容易でなく、杉を使うのは柱くらいで、梁、桁等は雑木を多く使っていた。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	三島町教育委員会	電話	0 2 4 1 - 4 8 - 5 5 9 9

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵 与願います。(貼り 付けずに、名前がわ かるようにして同 封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女 歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		
団体	団体名 (ふりがな)	
	代表者氏名 (ふりがな)	
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日	
	問い合わせ先	電話	

【フリーフォーマット】キーワード

<木割>



(写真提供：奥会津書房)